



▲左から3番目が理事長の菅野幸子さん、5番目が副理事長の高橋優美子さん、6番目が事務局長の宮口あけみさん（創設メンバー）

女性の活躍できるまちへ変えるのはわたしたち

山奥の一軒家からスタート

西福沢の小高い丘の上にある赤い屋根の空き家。そこがNPO法人「コミュニティちゃばたけ」の活動が始まった場所です。5人の仲間と山奥で始めたボランティア活動は、16年経った今では、子どもから高齢者まで多くの人に必要とされる存在になっています。

**山奥の一軒家から始まった
ボランティア活動**

「平成17年、5人の仲間と団体を立ち上げ、親子の居場所として地域ボランティアを始めました」そう話すのは理事長の菅野幸子さん。

元町職員で主に幼児教育に携わってきた菅野さんは、「子育て世代、特に他地域から嫁いできた人や夫の転勤で川俣町に来た人の子育てに対する不安や心配の声を耳にし、子育て世代のママたちが子どもを連れてこられるサロンのような場を提供したいという思いがきっかけとなり「ちゃばたけ」が生まれました」と話します。

**活動は子育て支援から
高齢者支援まで幅広く**

当初は「ママサロン」を中心に活動してきた「ちゃばたけ」でしたが、その後、会員制の相互助け合い子育て支援である子ども緊急サポートを開始し、家庭における子育て支援などの活動も始めました。平成23年以後は、川俣町からの依頼を受け、高齢者支援も開始



1



2



3



4



5



6



7

1. 幼稚園へのお迎え（ファミリーサポート事業）/2. 月に3回の料理教室 /3. 病院の付き添い（高齢者等の生活助け合い事業）/4. 毎週土曜日に陶芸もできます /5. 子どもの預かり（ファミリーサポート事業）/6. 月に1回のスタッフ会議 /7. 子育て中のママ限定の絵本セラピー講座



ちゃばたけおとこ会会長
高木 茂男しげおさん（小神）

女性の皆さんが頑張っている姿をみて、「男性も頑張ろう」という思いから発足した「ちゃばたけおとこ会」は、14名の会員がおり、半分以上が農業未経験者ですが、協力しながら黒豆の栽培、味噌・納豆の製造販売を行っています。



しました。それは、地域の集いの場、健康づくりの場、趣味、運動などの講座などを行う場としての「まちなかサロン」。そして、一人暮らしの高齢者を対象に掃除や通院、食事づくり等を行う「高齢者等の生活助け合い事業」です。

その後、子育て支援事業に関しても町の補助を受け、「ファミリーサポート事業」「子育て支援サポーター派遣事業」を開始。今では子育て支援と高齢者支援の2つを幅広い年齢層へ提供するようになりました。

利用者からもスタッフに困ったときはお互いさま

「ちゃばたけ」で働くスタッフには、もともと子育て中に「ちゃばたけ」を利用していた利用者が多いです。菅野さんは「活動開始から16年。困ったときはお互いさま」をモットーに地域の人たちが大きな家族のように集い、助け合い、支え合える拠点として、これからもこの助け合いの輪を広げて、この町の次の世代へと繋げていきたい」と話します。